夕刊
磐城日日
発行所
社団法人新聞日日磐城
福島県磐城市渚廻一五番地
電話387番
編集兼発行人　清村　慶

北洋漁船續々歸港

最高才八金比羅丸三二万尾

北洋サケ、マス流し網操業の従事船は、既に母港磐城の各浜に帰港したものもあり、現地に於て最後の追込操業を続けている他船も二十日上二十五日で操業を終り、各船団は北海道の根拠地に入港、今夏最後の水揚成績を持ち帰つている。

小名浜漁協組での漁獲数量成績集計によると一位は三八、六三七尾の第八金比羅丸、続いて第八日康丸、第七福吉丸、第十ス訪丸等の順である。

各船の漁獲高は次の通り（八月二十日現在）

第十一興洋丸　一七三、六二九尾
第二辰巳〃　一六七、六五三〃
第八春日〃　一五九、六四四〃
第十ス訪〃　二二三、四八八〃
第七明治〃　一六六、七九九〃
第五北洋〃　一七四、七五六〃
第七福吉〃　二二四、一一七〃
第五開運〃　一九二、四八四〃
第五吉〃　一八五、七六九〃
第五福宝〃　一九一、八三三〃
第三天洋〃　一七三、八一六〃
第七栄〃　一七五、三二一〃
大成〃　一七八、四一八〃
第七大陽〃　一五〇、八七九〃
第十長栄〃　一七八、九七一〃
第十一源海〃　二〇九、六九七〃
第十北州〃　一六二、二七九〃
第八開運〃　一六一、四二二〃
第十二吉長〃　一九一、八二九〃
第三長栄〃　一六九、八一七〃
第二康盛〃　一七六、四三五〃
第五大定〃　一七二、二八七〃
第十五共徳〃　一五四、二〇〇〃
寿和〃　一一七、二三二〃
文珠〃　一四五、一二九〃
清勝〃　一二六、八四〇〃
第三天洋〃　一六五、五四八〃
第七栄福〃　一三二、五三〇〃
第五開運〃　一三四、三〇七〃
第二三王〃　一一九、七一九〃
第六広運〃　一二二、一二六〃
第八日康〃　一二六、八六二〃
第八金比羅〃　一三八、六三七〃

平和と独立への道

平和実行委の講習会

磐城市平和祭実行委員会は八月を終戦十周年記念として再び戦争の惨禍を繰返えする事なく、世界の平和を念願し、平和月間として、海辺への歌声のつどい、平和標語募集、平和七夕祭等多彩な行事を行つて来たが平和月間のしめくゝりを小名浜一小講堂に於て、評論家畑中政春氏を招き講演会を開催した。

講演会は昨二十九日午後六時半より開かれたが講演の要旨は次の如くである。

「平和については世界の誰もが知つている、世界の情勢はソ連と米国との間に軍縮会議がもたれ、ジュネーブ四カ国外相会議を通じ欧州には平和が訪れんとしている国内に於ては八、六の原爆禁止世界大会がもたれ、これを契期として平和を守る声があらゆる方面に響いている。

そして独立への道をひたすらに進んでいる。

北鮮竄は何故に三〇〇万人の人命を投入し悲惨な戦いをしなければならなかつたか、三十五年余の日本への隷属より独立を得て民族が独立することが如何に尊いものであるかを知つている為である。

我々も完全独立と平和を求めなければならないであろう。」

と世界各国の情勢、国内情勢を広い視野の上に立つて幾多事例を挙げ論究した、終つて十五分間聴集よりの質問に答え、更に宿舎「武蔵屋旅館」に於て有志と懇談した。

県福祉会支部結成

磐城市の身体障害者

昨二十九日午後一時より、小名浜公民館ホールに於て磐城地区身体障害者の臨時総会が開催され、会員約一〇〇名出席（欠席約一〇〇名）磐城市福祉事務所より石川氏出席、磐城地区在住障害者の実態と県福祉会の実状を報告、決議事項に入り、先に磐城地区の幹部会では、県福祉会に入部すべく、支部結成の運びを急いでいた所より広く討論決議、福島県身体障害者福祉会磐城支部（会員約三〇〇名）が結成された。

役員選出及各地区委員の選出は、一任、次回集会に発表する運びとなつている新名簿を作製、方部機構の強化を計ると共に、支部団体費負担金として、年三、五〇〇円を本部（県庁内）に納金（負担金は磐城市役所より支出する）会員各自の会費年一〇〇円で支部を運営する事になつている。なお、今支部では、本部の発展強化によつて、財団組織になり、其の恩恵の一日も早く来る事を望んでいる。

会員募集

小、中、高学生
一般科
磐城日日新聞社前　電五三七
英友書道会

渡邊校敷地内定

工費九一七萬円で新築

磐城市渡辺小学校新築敷地二、四〇〇坪の確保について昨二十九日午後一時より磐城市議会文教委員会を開催し、この敷地買収について審議した。

これによると、農地八反歩を買収するもので、ほぼ現地接渉も終り反当十五万円をもつて買収する事になる模様である。

同校舎は二十年度中に予算九一七万円をもつて三九〇坪の新校舎を新築して本年新学期より新校舎で授業開始の豫定で準備をすすめている。

なお、同校附属の興村塾（和裁学院）は存続し、なお新校舎落成後は旧校舎の四教室を講堂に当てる事になつた。

内地歸還は不明

撫順から着いた中共抑留の良人からの便り

磐城市社会福祉事務所勤務の広瀬喜代子さんの夫君が戦犯として中共撫順戦犯収容所に抑留生活を続けていたが、昨日広瀬さんの許に夫君広瀬三郎氏（五一）より便りが届いた。

これは先月行われた世界母親大会の折り中共代表が持参し日本代表に託送されたものである。

この手紙は五月十一日の日附で発送されて居り、百余日目で無事奥さんの手に渡つた。

広瀬さんは職業軍人として陸軍幼年学校、士官学校等を卒業、陸軍大佐として満州延吉に興さん子供と共に住んで居たが、終戦となり広瀬三郎氏はソ連へ抑留、奥さん達は（二人の子供が死亡、現在一人）二人の子供と引揚げ、現在の福祉事務所へ勤めているものである。

夫君三郎氏はソ連抑留後昭和二十五年中共に還送され、現在の撫順に収容されているものである。

受胎調節と保育の指導

磐城市衛生課で

磐城市衛生課では受胎調節と育児法と結核の関係相談のためにその後の指導を行うべく準備をすすめて来たそのテスト・ケースとして農村地帯に指導を行うべく希望者を募集していたが、玉川地区の大原婦人会（二十名）、南富岡婦人会（三〇名）、野田婦人会（二十七名）林城、金成婦人会（十八名）、岩手婦人会（二〇名）、相子島婦人会（十七名）がそれぞれ希望、部落単位に於て実講することになつた。

市衛生課員指導員富塚さんは

今度の成績がよければ積極的に指導にのり出し五人、六人単位で受胎調節と育児法と結核の関係について指導して行きたいと考えている

と語つており、その成果が期待されている。

サンマ漁期に控え

海漁資源開發調査

磐城市県水産試験場では、さんま漁期を控えて、各種調査による資料を一般に親知、連日多忙をきわめているが、同水試験場調査部では、さんま漁期における各種対策を確立、準備を進めている。

調査部では、さんま漁期間中一週間に一回ないし二回漁報を発行すべく計画中である。

又、毎年漁獲統計の各種を製作しているが、今期も各種統計表を作製することになつており、統計作製の対象となるのは漁期間中二日目ごとに行われるもので、小名浜港に入港したさんま水揚船、その日総数船の十分の一船から約七尾一〇〇尾を対象として、先ず漁体の測定から成長、肥まん度及油ののり具合、さんまが食している餌の調査、腹中の卵の度合等、他にさんま当才、二才魚、三才魚を通じての体長組成の分類と漁獲比率による総合的なさんま資源の増減を調査、その結果によつて来年係員が少ない上に、何と言つても豫算が少ない関係上、計画した調査事項を全部出来得るか危ぶまれている状態ですが、今期こそは何とか目的を達すべく一層努力する」と調査遂行への熱意の程を語つているところより、是非とも不利な条件を克服し、海底資源開発への調査を遂行してほしいと一般から期待されている。

利用率の多い

海岸漁業用無線局

磐城市長立花秀吉氏は数日来業務過労のため静養中だつたが、二十八日小泉企画課長等の付添いで上東大病院に入院静養中である

最近一般人も無線については非常に関心を抱くようになつた。

東北には海岸漁業用無線局が十三局あるが、その中の一局が磐城市小名浜にある海岸漁業用小名浜無線局（吉川局長）である。

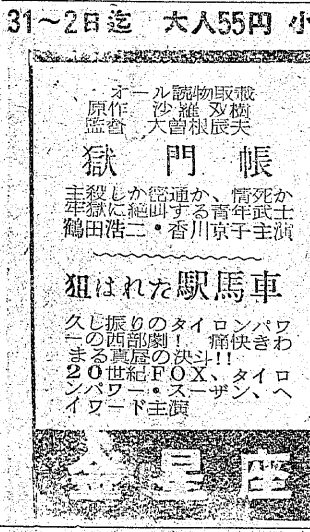
全局での一カ月平均の取扱件数は三千通の多きに達すると云われ、これがサンマ漁期に入ると、一日だけで三百通に達し、一カ月九千通余も取扱う大多忙が今から豫想されている。

尚東北各地の漁業用無線局の所在は次の通り

小名浜、江名、石巻、塩釜、気仙沼、釜石、宮古、大船渡、八戸、青森、酒田、能代、ノ脇崎超短波無線局　四倉

立花市長

東京で入院



天氣予報

（今晩）雨の風晴、時々くもり雷雨又はにわか雨
（明日）雨のち北風はじめくもりでにわか雨、のち晴
（明後日）北よりの風朝晩は雲が多く日中は晴
（海上）今晩も明日も風波が高いですが、明後日はおさまります

二百十日は無事
空前の大豊作予想さる

今年産米の本格的な秋の実りとなり、稲作の現在の生育状況より見て戦後最高の豊作になりそうで、空前の豊作さえ言い伝えられている。

植付後北上型梅雨で五、六月は若干冠水した水田もあつたが、その後気温も上昇し、適雨があつて、水稲は順調な生育を示めして来た。早稲は開花も大半終りつつあり、晩生の開花が始まろうとしている台風シーズンに入り、心配されている二百十日を明後日にひかえ、その気象状況を小名浜測候所に聞いて見た。

この天気も今晩又は明日午前中にはくずれる見込みで、豊雨又は俄雨がある。明日午後からは天気は回復する見込で、九月一日の二百十日は荒れる心配はありません。現在吹いている南風は寒冷前線が発達して北上しているので、今夜半又は明日午前中に通過するので若干風が強くなるが心配はなく、南風が北になればおだやかになりましようと小名浜測候所では語つており、今年の二百十日はまず無事に済むようである。

現在南方海上に台風が発達しており、二百廿日が案ぜられるわけであるが、現在のところさして心配はない模様であり、ヤク日を事なく過して予想通りの大豊作は確実と見られている。

小名濱ラガー敗る
決勝で常磐に抽選負

郡山市で開かれた県体育大会ラクビー戦に出場した「小名浜ラガー」は決勝戦に於て宿敵「常磐炭砿」と九対九の大接戦で抽選負で惜敗した。

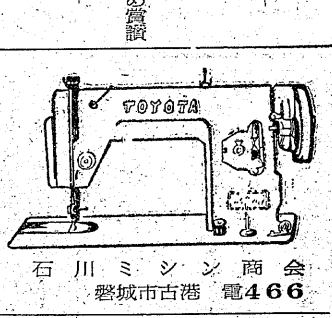
小名浜ラガーは第一回戦に平東北電力を二〇対三で破り、第二回戦に平ラガーに勝ち、決勝戦で郡山常磐に勝を譲つたもので、その善戦は小名浜の追撃物すごく、前衛では常磐に一歩譲つたものの後衛では圧倒的優勢のもとに九対九に追込み今一歩の処で惜しくも時間切れとなり、同点のため抽せんの結果常磐に勝を譲つたもので、その善戦は戦は小名浜ラガーの名を高め賞讃の的となつていた。

携帯救命ボートの点検
海上保安部

本日午前十時半頃小名浜海上保安部では折畳式携帯救命ボートの点検を行なつた。

全ボートの型体は、ボストンバック用ケース（長さ約一米）に足踏フイゴ式空気入と信号弾十発余の附属品が入つており、これをケースより取出し空気入で注入すると、巾約一米、長さ約四米となり平均四一五名、最悪の場合に直面した時は十名位は乗れるようである。

ボートは巡視船あさちどりの担となる予定である



石川ミシン商会
磐城市古港 電466

夜間高校教育上の諸問題 ⑤

福島県立小名浜高等学校教諭 馬目太平

二、教員待遇について

専任教員が採用されるならば、是等教員に対する待遇についても考慮が払われねばならない。

定時制特に夜間課程には種々なる困難の伴うことは、客観周知のことである。家庭から職場に、職場から学校、と生徒を囲じようとする社会の渦中にあつてよく自己の身を持し、誤りなく善導しようとする任務身体精神共に、疲労して登校する生徒に如何にして学習効果を徹底さすか、勤務の都合による遅刻、早退、欠席等をどうして最少限に止めようか、学業と職業を如何にして両立させようか、健康の管理を如何にすればよいか、其々枚挙に暇ないことである。

一方教師の私生活面においても実際に、勤務の経験をしない方々には、切実に感じて頂くことは無理であろう。即ち生活が不規則に陥り、家内は朝は普通家庭と同様に早起きし、夜は遅くまで夫の帰宅に備えねばならず、過労とスイ眠不足を余儀なくされ、為に罹病率も多くなる、然かも社会は定時制勤務の教員特に夜間高校勤務の教員に対し、正しい認識すら有し得ず、反つて全日制勤務教員に比し差等観すら抱いている向もなしとしない。このような客観的事情のうちに勤務する専任教師に対し、物心両面からいくばくの待遇措置を講じていただきたいと念願するのためのみでなく制と謂い得るのである。此の間の事情も亦待遇問題にも若干の関連あることを示すものではあるまいか。

三、夜間教育教師の使命観と教育指導上の問題

1、使命観について

長年に亘る戦争によつて巨額の国費とバク大な物資を消耗し国内の重要施設即ち建物、工場、会社、官庁、鉄道、通信、港湾、橋りよう、学校住宅等の破カイや焼失により、国の産業は根底からくつがえされ財政経済は極度にヒツ迫し加えて交戦諸国や関係各国にも巨大な賠償々還もせねばならないだろうし、剰さえ国の領土は半減されたのに反し、海外から復員軍人専任教員制の確立維持のための有力な裏付けとなることが考慮され

夜間高校教育上の諸問題

福島県立小名浜高等学校教諭 馬目太平

大騒ぎの下痢は
紛ミルクではない

昨二十九日、磐城市林の上二四七番地、細谷正助さんの末恩子こうじちゃん（一つ）は森永松本工場製品ML印を使用していたが下痢と発熱があるのでヒ素でわないかと保健所磐城分室では早速調査を行い現品を県に送り検査を受けている。

結果は判明しないが大いした事でわない模様、即報の通り磐城市管内にある森永粉ミルクは森永松本工場、福島工場製品が主であり、

徳島工場製品は入荷していない。

こうして街の話題を賑わしている森永徳島工場製品のMF印のヒ素の検出問題は其の後原因が判明して、一応安心した様子であるが、粉ミルクについては乳児の主食とされている粉乳について一般はあまりにも神経過敏になつている。

うまい酒！ 磐城櫻

小名濱ラガー敗る
決勝で常磐に抽選負

郡山市で開かれた県体育大会ラクビー戦に出場した「小名浜ラガー」は決勝戦に於て宿敵「常磐炭砿」と九対九の大接戦で抽選負で惜敗した。

小名浜ラガーは第一回戦に平東北電力を二〇対三で破り、第二回戦に平ラガーに勝ち、決勝戦で郡山常磐に勝を譲つたもので、その善戦は戦は小名浜ラガーの名を高め賞讃の的となつていた。

携帯救命ボートの点検
海上保安部

本日午前十時半頃小名浜海上保安部では折畳式携帯救命ボートの点検を行なつた。

全ボートの型体は、ボストンバック用ケース（長さ約一米）に足踏フイゴ式空気入と信号弾十発余の附属品が入つており、これをケースより取出し空気入で注入すると、巾約一米、長さ約四米となり平均四一五名、最悪の場合に直面した時は十名位は乗れるようである。

ボートは巡視船あさちどりの担となる予定である

石川ミシン商会
磐城市古港 電466

大騒ぎの下痢は
紛ミルクではない

昨二十九日、磐城市林の上二四七番地、細谷正助さんの末恩子こうじちゃん（一つ）は森永松本工場製品ML印を使用していたが下痢と発熱があるのでヒ素でわないかと保健所磐城分室では早速調査を行い現品を県に送り検査を受けている。

結果は判明しないが大いした事でわない模様、即報の通り磐城市管内にある森永粉ミルクは森永松本工場、福島工場製品が主であり、

徳島工場製品は入荷していない。

こうして街の話題を賑わしている森永徳島工場製品のMF印のヒ素の検出問題は其の後原因が判明して、一応安心した様子であるが、粉ミルクについては乳児の主食とされている粉乳について一般はあまりにも神経過敏になつている。

うまい酒！ 磐城櫻

映画解説 揚貴妃

三十一日より九月六日まで皇帝と町の娘の悲恋物語：大映が再び築かんとするグラン・プリ映画の金字塔！

物語は唐王朝の玄宗皇帝（森雅之）は、熱愛していた妃を亡くしてから悲歎にくれた毎日を送つていたが、たまゝ地方の一軍人安禄山（山村聰）の世話で宮廷入りした野性的な娘「玉環」はその持前の美しさを発揮して遂に玄宗皇帝のチヨウ愛を受けることになる。

それから楊貴妃（京マチ子）一族の立身出世とその悪政を怨む国民の声とも変つて行くが、その矢面に立つのはいつも楊貴妃一人であつたが……

妃を中にはさんで安禄山と皇帝覇が戦端を開くことになつたが、やがて一国を傾け、皇帝を恋のとりことにした壮麗な肢体が今静かに、怒号と怨サの渦巻く兵達と暴徒の中に消えて行く……

助演に南田洋子、進藤英太郎、見明凡太郎と芸達者、花形、ベテランを揃えて、競演の妙技を大きく打出している。

監督は巨匠溝口健二撮影は杉山公平、大映カラー総天然色

終電車の死美人

八月三十一日―九月四日まで

或る豪雨の夜更け、三鷹駅止まりの終電車内で、若い女が殺されていた。致命傷はアイ口で一突き、犯人は踏切番の證言に依り線路伝いに逃走した模様であつた。捜査に当つた警視庁捜査一課長阿川以下、長谷川、赤本等担当刑事達は現場に落ちていたロケットの中の男の写真と、有楽町駅発売の番号三〇〇三の乗車券を唯一の證拠品として困難なる捜査活動に乗り出した。

これは大都会東京の陰に凶悪犯罪を追つて不断の苦斗を続ける警視庁捜査一課の立体的活動の全貌を描くもので、朝日新聞記者団手記「警視庁」に材を得、新鋭小林恒夫監督が総数百余名のベテラン演技陣を駆使して放つ鮮烈の犯罪ドキユメンタリである。

追う者と追われる者！大都会の谷間をはう血みどろの死斗と追跡！

営つてない抜巧とベテラン演技陣を駆使して、新鋭小林監督が描く犯罪映画である。

一一〇番を廻せ！殺人事件発生！疾駆するパトロール・カー、血走る刑事の眼。

会霸サスペンスに徹底した迫力篇である。

金美館

印刷の御用命はナガセへ電二二九

各種螢光灯大販売!!

特ニ雑音皆無各種メーカー螢光灯販賣並ニ取付イタシマス

ラジオ◎電気器具販賣並修理

小磯ラジオ店

磐城市磐城座通り 電七一四

求む擴張員

旧江名町居住の方男女の別を問いません 磐城日日新聞社

集員募社

◇集員募社◇

一、年令 二五才―五十才迄
一、学歴 旧制中学校卒男女問わず
一、採用人員 五名
一、希望者は履歴書持参直接面談の上採用す

福島県磐城市字定西五七
日本生命小名浜代理店
味噌醤油醸造元 亀屋商店
店主 堀越大治郎

奥菜市況

○鮮魚 小名浜魚市場

なし

○青果 小名浜中央市場

卵二三―一一ねぎ八〇―五〇ふねぎ八〇―一三〇人参一三〇―八〇ごぼう六〇―五〇馬鈴薯四〇―二五大根六〇―五〇丸大根一〇―五かぼちや二〇―一五ほうれん七〇―六〇うり三〇―五なす五一―二まと八〇―五〇枝豆八〇―六〇なた豆四〇―一〇大和いも二五〇―一〇〇すいか八五―五〇とうみぎ五一二

引揚邦人は何千万に上り、為めに国内人口は飽和以上の過剰状態に陥り人口の単位密度は世界の一、二位を争うまでに至つた。

斯様な国家の現状から国の産業経済を建直さねばならない。文化の向上を計つて文化国家平和国家を再建して国際社会に伍して行き共存共栄し、人類の福祉に貢献しなければならない。かかる大使命は国民の一人一人がもれなく負うべき連帯の義務責任であると心得ている、此の崇高な世界観に達する勤労青少年の教育に当ることが夜間高校教育に携わる者の使命であらねばならない。